

特別会計

1 国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額15,151,975千円に対し、歳出決算額14,845,316千円で、歳入歳出差引額は、306,659千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で509,497千円(△3.3%)、歳出で740,711千円(△4.8%)それぞれ減少している。これは主に、被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、歳出では、保険給付費で263,842千円(△2.4%)、歳入では、その財源となる県支出金で243,625千円(△2.2%)それぞれ減少したことによるものである。このほか、歳入では、繰入金で153,097千円(△12.0%)、繰越金で103,129千円(△57.8%)、歳出では、国民健康保険事業費納付金で401,930千円(△9.5%)それぞれ減少している。

国民健康保険税の収納状況は、前年度に比べ収入済額で28,821千円(△0.9%)、収入未済額で55,028千円(△6.0%)それぞれ減少している。また、収納率は77.1%で、前年度に比べ1.1ポイント上昇している。不納欠損額は36,973千円で、前年度に比べ11,339千円(△23.5%)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不 納 欠損額	収 入 未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 国民健康保険税	2,825,426	3,937,620	(875) 3,036,082	36,973	865,440	107.5	77.1	(1,778) 3,064,903	(△ 903) △ 28,821	△ 0.9
2 分担金及び負担金	198	195	195	0	0	98.5	100.0	173	22	12.7
3 国庫支出金	24,927	23,588	23,588	0	0	94.6	100.0	3,006	20,582	684.7
4 県支出金	11,009,183	10,854,432	10,854,432	0	0	98.6	100.0	11,098,057	△ 243,625	△ 2.2
5 財産収入	147	149	149	0	0	101.4	100.0	91	58	63.7
6 繰入金	1,239,749	1,124,280	1,124,280	0	0	90.7	100.0	1,277,377	△ 153,097	△ 12.0
7 繰越金	75,445	75,445	75,445	0	0	100.0	100.0	178,574	△ 103,129	△ 57.8
8 諸収入	22,271	39,057	37,804	4	1,249	169.7	96.8	39,291	△ 1,487	△ 3.8
合 計	15,197,346	16,054,766	(875) 15,151,975	36,977	866,689	99.7	94.4	(1,778) 15,661,472	(△ 903) △ 509,497	△ 3.3

(注) 「収入済額」欄中の()内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 総務費	269,890	248,225	0	21,665	92.0	249,474	△ 1,249	△ 0.5
2 保険給付費	10,792,006	10,531,105	0	260,901	97.6	10,794,947	△ 263,842	△ 2.4
3 国民健康保険事業費納付金	3,807,775	3,807,774	0	1	100.0	4,209,704	△ 401,930	△ 9.5
4 保健事業費	178,078	165,865	0	12,213	93.1	176,836	△ 10,971	△ 6.2
5 基金積立金	27,875	27,875	0	0	100.0	90,092	△ 62,217	△ 69.1
6 公債費	552	25	0	527	4.5	91	△ 66	△ 72.5
7 諸支出金	71,170	64,447	0	6,723	90.6	64,883	△ 436	△ 0.7
8 予備費	50,000	0	0	50,000	—	0	0	—
合 計	15,197,346	14,845,316	0	352,030	97.7	15,586,027	△ 740,711	△ 4.8

歳入歳出差引額

(単位：千円・%)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	15,151,975	14,845,316	306,659
令和元年度	15,661,472	15,586,027	75,445
増 減	△ 509,497	△ 740,711	231,214
増 減 率	△ 3.3	△ 4.8	

国民健康保険税収納状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	
現 年 課 税 分	令和2年度	2,678,423	3,030,074	(712) 2,848,761	0	182,025	106.4	94.0
	令和元年度	2,905,751	3,092,382	(1,678) 2,901,122	118	192,820	99.8	93.8
	増 減	△ 227,328	△ 62,308	(△ 966) △ 52,361	△ 118	△ 10,795	6.6	0.2
	増減率	△ 7.8	△ 2.0	△ 1.8	皆減	△ 5.6		
滞 納 繰 越 分	令和2年度	147,003	907,546	(163) 187,321	36,973	683,415	127.4	20.6
	令和元年度	144,185	939,523	(100) 163,781	48,194	727,648	113.6	17.4
	増 減	2,818	△ 31,977	(63) 23,540	△ 11,221	△ 44,233	13.8	3.2
	増減率	2.0	△ 3.4	14.4	△ 23.3	△ 6.1		
合 計	令和2年度	2,825,426	3,937,620	(875) 3,036,082	36,973	865,440	107.5	77.1
	令和元年度	3,049,936	4,031,905	(1,778) 3,064,903	48,312	920,468	100.5	76.0
	増 減	△ 224,510	△ 94,285	(△ 903) △ 28,821	△ 11,339	△ 55,028	7.0	1.1
	増減率	△ 7.4	△ 2.3	△ 0.9	△ 23.5	△ 6.0		

(注) 「収入済額」欄中の()内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較

区 分	令和2年度	令和元年度	前年度との比較		
	A	B	増減C(A-B)	率C/B(%)	
国民健康保険税 (千円)	3,036,082	3,064,903	△ 28,821	△ 0.9	
うち医療給付費分 (千円)	2,004,876	2,039,665	△ 34,789	△ 1.7	
保険給付費 (千円)	10,531,105	10,794,947	△ 263,842	△ 2.4	
保険税対給付費等割合 (%)	19.0	18.9	0.1		
1世帯当たり	税 額 (円)	102,225	102,519	△ 294	△ 0.3
	給 付 費 (円)	506,717	510,689	△ 3,972	△ 0.8
1人当たり	税 額 (円)	67,491	66,891	600	0.9
	給 付 費 (円)	334,544	333,208	1,336	0.4
世 帯 数 (世帯)	20,783	21,138	△ 355	△ 1.7	
被 保 険 者 数 (人)	31,479	32,397	△ 918	△ 2.8	

$$\text{保険税対給付費等割合} = \frac{\text{国民健康保険税(医療給付費分)}}{\text{保険給付費}} \times 100$$

(注) 1 1世帯当たり及び1人当たり税額は、医療給付費分(現年課税分)の調定額 2,124,544千円で算出した。

2 1世帯当たり及び1人当たり給付費は、保険給付費 10,531,105千円で算出した。

保険給付費の状況

(単位：千円・件)

区 分	金 額		件 数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
療養給付費	8,988,030	9,247,460	467,229	513,943
療養費	131,439	136,162	16,060	18,359
高額療養費	1,357,459	1,345,835	20,836	20,836
高額介護合算療養費	924	678	50	44
移送費	0	0	0	0
出産育児諸費	21,306	28,557	51	68
葬祭諸費	5,840	7,560	195	252
傷病手当金	0	—	0	—
審査支払手数料	26,107	28,695	486,536	534,796
合 計	10,531,105	10,794,947	990,957	1,088,298

2 荻布奨学金事業会計

当年度は、歳入歳出決算額とも1,827千円の同額である。

歳入のうち、繰入金1,319千円は荻布奨学基金及び一般会計からの繰入りで、前年度に比べ34千円(2.6%)増加している。

奨学金は、17人の高校生及び高専生に対し1,632千円支給されている。

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 財産収入	2	8	8	0	0	400.0	100.0	9	△ 1	△ 11.1
2 繰入金	4,518	1,319	1,319	0	0	29.2	100.0	1,285	34	2.6
3 諸収入	500	500	500	0	0	100.0	100.0	500	0	—
合 計	5,020	1,827	1,827	0	0	36.4	100.0	1,794	33	1.8

歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度 決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 教育費	5,020	1,827	0	3,193	36.4	1,794	33	1.8
合 計	5,020	1,827	0	3,193	36.4	1,794	33	1.8

歳入歳出差引額

(単位：千円・%)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	1,827	1,827	0
令和元年度	1,794	1,794	0
増 減	33	33	0
増 減 率	1.8	1.8	

奨学金支給状況

(単位：千円・人)

区 分	令和2年度			令和元年度		
	支給額 (1か月当たり)	人数	年間支給額	支給額 (1か月当たり)	人数	年間支給額
高等学校	8	15	1,440	8	17	1,632
高等専門学校	8	2	192	8	2	144
合 計		17	1,632		19	1,776

3 駐車場事業会計

当年度は、歳入歳出決算額とも289,168千円の同額である。

歳入のうち、事業収入は150,110千円で、前年度に比べ63,572千円(△29.8%)減少している。これは主に、御旅屋駐車場で32,246千円、高岡中央駐車場で21,710千円それぞれ減少したことによるものである。

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収 入 未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 事業収入	131,168	150,110	150,110	0	0	114.4	100.0	213,682	△ 63,572	△ 29.8
2 繰入金	159,921	137,592	137,592	0	0	86.0	100.0	132,173	5,419	4.1
3 諸収入	1,468	1,466	1,466	0	0	99.9	100.0	1,329	137	10.3
4 国庫支出金	17,444	17,444	0	0	17,444	—	—	—	0	—
市債	—	—	—	—	—	—	—	24,500	△ 24,500	皆減
合 計	310,001	306,612	289,168	0	17,444	93.3	94.3	371,684	△ 82,516	△ 22.2

歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度 決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 駐車場事業費	133,874	114,136	17,444	2,294	85.3	138,319	△ 24,183	△ 17.5
2 公債費	175,127	175,032	0	95	99.9	233,365	△ 58,333	△ 25.0
3 予備費	1,000	0	0	1,000	—	0	0	—
合 計	310,001	289,168	17,444	3,389	93.3	371,684	△ 82,516	△ 22.2

歳入歳出差引額

(単位：千円・%)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	289,168	289,168	0
令和元年度	371,684	371,684	0
増 減	△ 82,516	△ 82,516	0
増 減 率	△ 22.2	△ 22.2	

市債現在高の状況

(単位：千円・%)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	前年度との比較	
			増減C(A-B)	率C/B
年度当初現在高	358,617	563,005	△ 204,388	△ 36.3
当年度発行額	0	24,500	△ 24,500	皆減
当年度償還額	172,336	228,888	△ 56,552	△ 24.7
年度末現在高	186,281	358,617	△ 172,336	△ 48.1

御旅屋駐車場利用状況

区 分	普通駐車	夜間駐車	業務用 駐 車	定期券駐車	回数券駐車	パーキング カート [※] 駐車	トラック・ バス駐車	自 動 二輪車	合 計
令和2 年度	駐車台数(台)	72,247		817	33,202	(23,108)	(1,005)	6	106,272
	駐車料金(円)	8,006,410		0	16,832,200	4,692,600	338,000	7,700	29,876,910
令和元 年度	駐車台数(台)	140,498	7,679	931	40,208	(77,715)	(821)	32	189,348
	駐車料金(円)	17,115,330	6,070,410	0	19,352,520	19,253,200	195,000	137,100	62,123,560

(注) () 内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

区 分	普通駐車	夜間駐車	業務用 駐 車	定期券駐車	回数券駐車	パーキング カート [※] 駐車	トラック・ バス駐車	自 動 二輪車	合 計	
令和2 年度	駐車台数(台)	157,366		2,571	87,101	(36,610)	(1,736)	221	163	247,422
	駐車料金(円)	22,176,510		0	56,761,700	39,798,120	989,000	481,800	26,460	120,233,590
令和元 年度	駐車台数(台)	218,113	36,500	3,033	72,829	(58,220)	(3,544)	678	165	331,318
	駐車料金(円)	34,010,440	12,745,950	0	43,956,660	48,369,880	1,632,000	1,199,820	29,090	141,943,840

(注) () 内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

区 分	普通駐車	夜間駐車	業務用 駐 車	定期券駐車	回数券駐車	パーキング カート [※] 駐車	トラック・ バス駐車	自 動 二輪車	合 計
令和2 年度	駐車台数(台)								
	駐車料金(円)								
令和元 年度	駐車台数(台)	4,205	681	5	11,416	(888)	(10)		16,307
	駐車料金(円)	1,194,910	416,170	0	7,599,340	405,120	0		9,615,540

(注) () 内数字は、合計台数の内数。なお、高岡駐車場は令和元年9月末で休止。

翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、繰越明許費1件である。

繰越明許費の理由は、国の補正予算を活用した事業において、年度内の完了が困難となったことによるものである。

繰越明許費の内容

(単位：千円)

款	事 業 名	金 額	翌年度 繰越額	左の財源内訳				
				既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
					国・県支出金	地方債	その他	
駐 車 場 事 業 費	駐車場管理事業	17,444	17,444	0	17,444	0	0	0

4 工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額657,729千円に対し、歳出決算額652,793千円で、歳入歳出差引額4,936千円は、翌年度へ繰り越すべき財源として繰り越されている。

前年度に比べ歳入で1,465,019千円（△69.0%）、歳出で1,469,955千円（△69.2%）それぞれ減少している。これは主に、歳入では、工業団地の分譲に伴う財産収入で1,316,234千円（△66.9%）、歳出では、公債費で1,351,833千円（△85.2%）それぞれ減少したことによるものである。

なお、当年度で大滝工業団地及びI Cパーク高岡のすべての区画の分譲が完了となり、工業団地の分譲に伴う財産収入を財源として市債の繰上償還が行われたことで、当年度末をもって市債の返済が完了している。

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 財産収入	652,005	652,005	652,005	0	0	100.0	100.0	1,968,239	△ 1,316,234	△ 66.9
2 繰入金	12,441	5,722	5,722	0	0	46.0	100.0	20,402	△ 14,680	△ 72.0
3 諸収入	0	2	2	0	0	—	100.0	7	△ 5	△ 71.4
市債	—	—	—	—	—	—	—	134,100	△ 134,100	皆減
合 計	664,446	657,729	657,729	0	0	99.0	100.0	2,122,748	△ 1,465,019	△ 69.0

歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度 決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 工業団地 造成事業費	424,131	417,433	4,936	1,762	98.4	535,555	△ 118,122	△ 22.1
2 公債費	239,815	235,360	0	4,455	98.1	1,587,193	△ 1,351,833	△ 85.2
3 予備費	500	0	0	500	—	0	0	—
合 計	664,446	652,793	4,936	6,717	98.2	2,122,748	△ 1,469,955	△ 69.2

歳入歳出差引額

(単位：千円・%)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	657,729	652,793	4,936
令和元年度	2,122,748	2,122,748	0
増 減	△ 1,465,019	△ 1,469,955	4,936
増 減 率	△ 69.0	△ 69.2	

市債現在高の状況

(単位：千円・%)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	前年度との比較	
			増減C(A-B)	率C/B
年度当初現在高	234,540	1,683,020	△ 1,448,480	△ 86.1
当年度発行額	0	134,100	△ 134,100	皆減
当年度償還額	234,540	1,582,580	△ 1,348,040	△ 85.2
年度末現在高	0	234,540	△ 234,540	皆減

翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、繰越明許費1件である。

繰越明許費の理由は、I Cパーク高岡の全区画の分譲先決定を踏まえて発注する工事について、十分な工期を確保するため、翌年度へ繰り越されたものである。

繰越明許費の内容

(単位：千円)

款	事 業 名	金 額	翌年度 繰越額	左の財源内訳				
				既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
					国・県支出金	地方債	その他	
工業団地造成事業費	I Cパーク高岡造成事業	5,200	4,936	4,936	0	0	0	0

5 介護保険事業会計

当年度は、歳入決算額18,586,675千円に対し、歳出決算額18,504,505千円で、歳入歳出差引額は、82,170千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で364,721千円(2.0%)、歳出で328,002千円(1.8%)それぞれ増加している。これは主に、歳入では、国庫支出金で153,565千円(3.7%)、支払基金交付金で103,883千円(2.2%)それぞれ増加したことによるものである。歳出では、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費で371,325千円(2.2%)増加したことによるものである。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 保険料	3,684,606	3,846,339	(286) 3,773,444	24,481	48,700	102.4	98.1	(140) 3,802,537	(146) △ 29,093	△ 0.8
2 国庫支出金	4,280,313	4,347,169	4,347,169	0	0	101.6	100.0	4,193,604	153,565	3.7
3 支払基金 交付金	4,859,486	4,848,175	4,848,175	0	0	99.8	100.0	4,744,292	103,883	2.2
4 県支出金	2,649,855	2,646,168	2,646,168	0	0	99.9	100.0	2,572,464	73,704	2.9
5 財産収入	142	142	142	0	0	100.0	100.0	106	36	34.0
6 繰入金	3,212,596	2,924,137	2,924,137	0	0	91.0	100.0	2,874,407	49,730	1.7
7 繰越金	45,451	45,450	45,450	0	0	100.0	100.0	31,350	14,100	45.0
8 諸収入	1,509	1,990	1,990	0	0	131.9	100.0	3,194	△ 1,204	△ 37.7
合 計	18,733,958	18,659,570	(286) 18,586,675	24,481	48,700	99.2	99.6	(140) 18,221,954	(146) 364,721	2.0

(注)「収入済額」欄中の()内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度 決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 総務費	312,475	297,384	0	15,091	95.2	310,034	△ 12,650	△ 4.1
2 保険給付費	17,657,837	17,490,638	0	167,199	99.1	17,119,313	371,325	2.2
3 地域支援事業費	681,613	653,063	0	28,550	95.8	684,567	△ 31,504	△ 4.6
4 保健福祉事業費	40,505	33,613	0	6,892	83.0	32,709	904	2.8
5 基金積立金	142	142	0	0	100.0	106	36	34.0
6 公債費	1	1	0	0	100.0	1	0	—
7 諸支出金	31,385	29,664	0	1,721	94.5	29,773	△ 109	△ 0.4
8 予備費	10,000	0	0	10,000	—	0	0	—
合 計	18,733,958	18,504,505	0	229,453	98.8	18,176,503	328,002	1.8

歳入歳出差引額

(単位：千円・%)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	18,586,675	18,504,505	82,170
令和元年度	18,221,954	18,176,503	45,451
増 減	364,721	328,002	36,719
増 減 率	2.0	1.8	

第1号被保険者の介護保険料収納状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B
特別徴収	3,449,664	3,530,893	3,530,893	0	0	102.4	100.0
普通徴収	234,942	315,446	(286) 242,551	24,481	48,700	103.2	76.9
合 計	3,684,606	3,846,339	(286) 3,773,444	24,481	48,700	102.4	98.1

(注)「収入済額」欄中の()内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況

(単位：千円・件)

区 分	金 額		件 数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
介護給付費・予防給付費	16,596,657	16,244,749	257,485	253,200
高額介護サービス費	362,642	352,277	28,762	28,027
特定入所者介護サービス費	470,618	463,296	15,330	15,197
高額医療合算介護サービス費	42,846	41,404	1,638	1,514
審査支払手数料	17,875	17,587	255,352	251,241
合 計	17,490,638	17,119,313	558,567	549,179

6 後期高齢者医療事業会計

当年度は、歳入決算額2,606,806千円に対し、歳出決算額2,595,201千円で、歳入歳出差引額は、11,605千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で133,653千円（5.4%）、歳出で131,781千円（5.3%）それぞれ増加している。これは主に、被保険者数の増加などに伴い、歳入では、後期高齢者医療保険料で121,876千円（6.2%）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で138,389千円（5.8%）それぞれ増加したことによるものである。

歳入決算状況

（単位：千円・%）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	対予算 収入率 C/A	対調定 収納率 C/B	前年度 決算額 D	前年度との比較	
									増減 E(C-D)	率 E/D
1 後期高齢者医療保険料	2,073,413	2,116,716	(1,223) 2,084,869	2,678	30,392	100.6	98.5	(879) 1,962,993	(344) 121,876	6.2
2 繰入金	513,551	510,804	510,804	0	0	99.5	100.0	498,409	12,395	2.5
3 繰越金	9,734	9,733	9,733	0	0	100.0	100.0	10,649	△ 916	△ 8.6
4 諸収入	3,504	1,048	1,048	0	0	29.9	100.0	1,102	△ 54	△ 4.9
5 国庫支出金	1,760	352	352	0	0	20.0	100.0	—	352	皆増
合 計	2,601,962	2,638,653	(1,223) 2,606,806	2,678	30,392	100.2	98.8	(879) 2,473,153	(344) 133,653	5.4

（注）「収入済額」欄中の（ ）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況

（単位：千円・%）

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額	不用額	執行率 B/A	前年度 決算額 C	前年度との比較	
							増減 D(B-C)	率 D/C
1 総務費	69,961	65,813	0	4,148	94.1	72,317	△ 6,504	△ 9.0
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,528,501	2,528,501	0	0	100.0	2,390,112	138,389	5.8
3 諸支出金	3,500	887	0	2,613	25.3	991	△ 104	△ 10.5
合 計	2,601,962	2,595,201	0	6,761	99.7	2,463,420	131,781	5.3

歳入歳出差引額

（単位：千円・%）

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
令和2年度	2,606,806	2,595,201	11,605
令和元年度	2,473,153	2,463,420	9,733
増 減	133,653	131,781	1,872
増 減 率	5.4	5.3	